

教授 **姫岡 とし子** HIMEOKA, Toshiko

1. 略歴

- 1973年3月 奈良女子大学理学部化学科卒業
- 1980年6月 フランクフルト大学歴史学部修士課程修了
- 1984年3月 奈良女子大学大学院人間科学研究科比較文化学専攻単位取得退学（文学博士）
- 1988年4月 立命館大学国際関係学部講師
- 1991年4月 立命館大学国際関係学部助教授
- 1995年4月 立命館大学国際関係学部教授
- 1998年9月 ドイツ・ボーフム大学社会科学部客員教授（1999年3月まで）
- 2005年4月 筑波大学人文社会科学研究科歴史・人類学専攻教授
- 2009年4月 東京大学大学院人文社会系研究科西洋史学教授（現在に至る）
- 2010年9月 ドイツ・ハレ大学客員教授（2010年10月まで）

2. 主な研究活動

a 専門分野

西洋史

b 研究課題

近現代ドイツ社会史、女性・ジェンダー史

c 主要業績

(1) 学会発表

国内、「歴史研究とジェンダー—近代ドイツのナショナリズムを例にして」メトロポリタン史学会（2012年4月21日、首都大学東京）

国内、「ジェンダー史の成果は浸透したのか？」（日本学術会議シンポジウム、2013年6月29日）

国際、Toshiko Himeoka、「Frauenbewegung und Backlash: Japan und Deutschland im Vergleich」、Frauenbewegungen und Komplexe (Geschlechterverhältnisse in Internationaler Perspektive)Festtagung für Ilse Lenz, Ruhr-Universität Bochum in Detuschland、2014.2.23

(2) 論文

「ドイツにおけるホロコーストの記憶文化と性」『歴史と地理』No.654、2012年5月、pp.1-15

「歴史認識を変える—歴史教育改革とジェンダー」『歴史評論』No.748、2012年8月

「ドイツにおけるナショナリズムと女性の政治化」『メトロポリタン史学』第9号、2013年12月

(3) 著書

「EUのジェンダー政策」羽場久美子（編）『EU（欧州連合）を知るための64章』（明石書店・2013年9月）

(4) 書評・論評

「2011年の歴史学会・回顧と展望・ヨーロッパ・現代一般」『史学雑誌』121編5号（2012年5月）

3. 主な社会活動

(1) 学会

日本ドイツ学会（理事長2010—2013）

公益財団法人史学会、評議員 2011.4～

(2) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

日本学術会議連携会員（2010—2013）